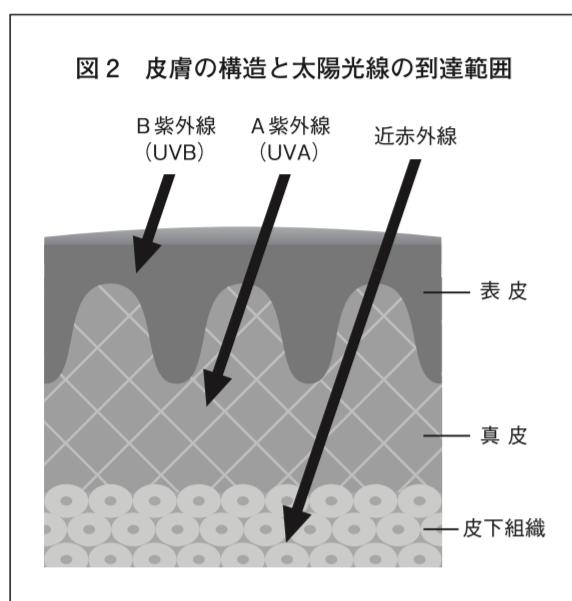
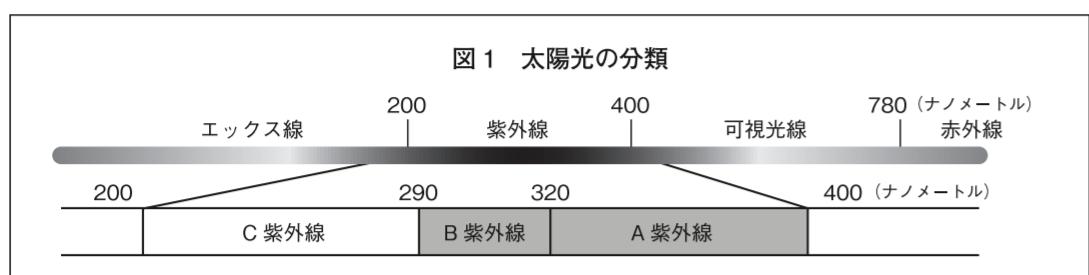


「光老化」をご存じですか?

ひかり



友利 新氏



川島 真氏



森田 明理氏

友利 光の怖さが良く分
かりましたが、光の良い点
ももちろんありますよね。

森田 我々は皮膚の病気
の治療に光を利用しています。不思議に聞こえるかも
しませんが、上手に利用
すれば光は肌にプラスのこ
ともあるのです。

友利 どのような利用方
法があるのでしょうか？

森田 B紫外線のなかの
311ナノメートルや30
8ナノメートルの波長だけ
を取りだして皮膚に当てま
すと、先ほどお話しの分
た、光の免疫を抑える働き
だけを有効に利用すること

認知度向上に向けて

友利 光も皮膚病の治療
に有効利用できることが分
かりましたが、一般の方に分
かりましたが、一般的な方
にとってはやはり日常から光
法です。

宮地 日焼け止めのB
紫外線を防御する効力を
示すSPF（サンプロテク
ションファクター）に関
しての認知度は一〇

光老化の認知度向上と
光対策の浸透をめざす

川島氏

座談会出席者

（ナビゲーター）
医師・コメンテーター

NPO法人皮膚の健康研究機構理事
京都大学名誉教授

近畿大学医学部皮膚科学教授
東京女子医科大学皮膚科学教授

名古屋市立大学医学部皮膚科学教授
NPO法人皮膚の健康研究機構副理事長

神戸大学医学部皮膚科学教授
川田 晴氏

宮地良樹氏
川島 真氏

森田 明理氏
錦織千佳子氏

友利 新氏

生理的光老化とは 異質な光老化 宮地氏

しみ、しわのメカニズム

友利 なるほど、確かに
顔とおなかでは違いがはっ
きりしていますね。光がど
うやってしみ、しわをつ
くってしまうのか、教えて
ください。

川田 肌の表面が乾燥し
て小じわができるますが、光
で皮膚に溜まりはじめま
す。色素を作つて光の書を
減らすための防御反応では
あります。それがひと色
素を作つて色素細胞が表皮と
呼ばれる皮膚の浅いところ
で増加して、盛んに色素を
作り始め、その排出が遅れ
ます。この「光老化」としては白
い肌が有名です。

川田 紫外線が肌に当た
ると、黒い色のマラニンとい
う黒い色素を作つて皮膚に溜
ります。色素を作つて光の書を
減らすための防御反応では
あります。それがひと色
素を作つて色素細胞が表皮と
呼ばれる皮膚の浅いところ
で増加して、盛んに色素を
作り始め、その排出が遅れ
ます。この「光老化」としては白
い肌が有名です。



宮地氏

の張りを保つ真皮の正常な
弾性繊維が減少し、張りを
保つ働きの落ちた異常な弾
性繊維が増えて、皮膚の構
造を保つ膠原線維や真皮の構
造をしてしまいます。

皮膚がんの原因にもなる
皮膚がんの危険性も

友利 シミは皮膚のもつ
と深いところの変化です
ね。

川田 肌の表面が乾燥し
て小じわができるですが、光
で皮膚に溜まりはじめま
す。色素を作つて光の書を
減らすための防御反応では
あります。それがひと色
素を作つて色素細胞が表皮と
呼ばれる皮膚の浅いところ
で増加して、盛んに色素を
作り始め、その排出が遅れ
ます。この「光老化」としては白
い肌が有名です。

友利 オゾンホールの拡
大とともに地球上に降り注
ぐ太陽光線の量が増えて、
そのため皮膚がんも増
えてきたと聞いたことが
あります。しかし、しげ
るルーライトとの関係も話
題になっています。



川田氏

皮膚がんの原因にもなる
皮膚がんの危険性も

友利 シミは皮膚のもつ
と深いところの変化です
ね。

川田 肌の表面が乾燥し
て小じわができるですが、光
で皮膚に溜まりはじめま
す。色素を作つて光の書を
減らすための防御反応では
あります。それがひと色
素を作つて色素細胞が表皮と
呼ばれる皮膚の浅いところ
で増加して、盛んに色素を
作り始め、その排出が遅れ
ます。この「光老化」としては白
い肌が有名です。

皮膚がんの原因にもなる
皮膚がんの危険性も

友利 シミは皮膚のもつ
と深いところの変化です
ね。

光に長期間当たることは 美容的に好ましくない 川田氏

紫外線を活用した治療法

友利 光の怖さが良く分
かりましたが、光の良い点
ももちろんありますよね。

森田 我々は皮膚の病気
の治療に光を利用しています。
皮膚炎、さらには白斑など
（尋常性白斑）などの病気
で高い効果が得られます。
20回くらいは繰り返し治療
する必要がありますが、患
者さんの満足度は高い治療
法です。

森田 意味を含めて知っている

川島

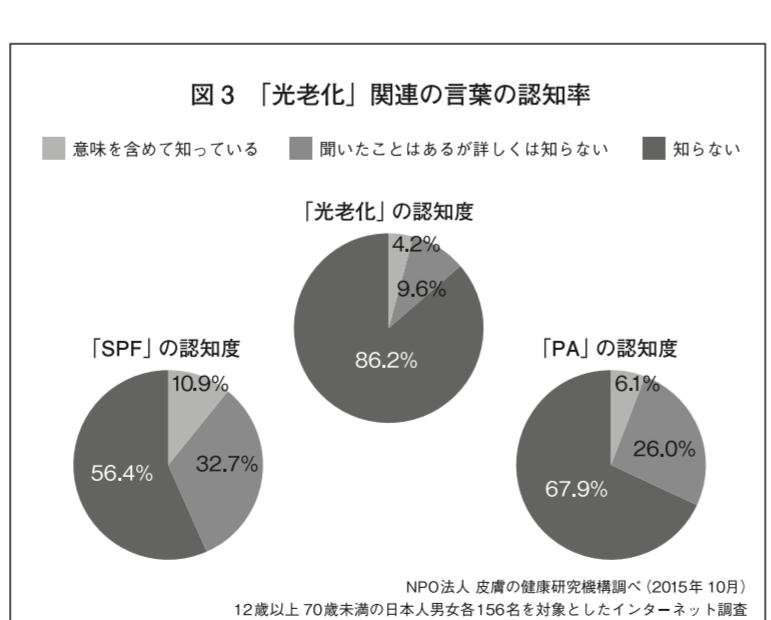
オーストラリアで

は、国家レベルで紫外線対
策を呼び掛けています。学
童期から、日焼け止めを使
用して帽子をかぶらいまし
よと推奨されています。

川島 そうですね。まずは
肌の「光老化」という言葉
を正確に理解していくだ
けで、紫外線から近赤外線ま
でを防護できる日焼け止め
の化粧品、医薬部外品の適
切な使用はもちろん、帽子、
衣服、サングラスなどの眼
鏡、車やビルの窓ガラスな
どにも光対策を施していく
ことが大切と思っていま
す。これからさまざまな方
が肌に当たる機会が増えて
いるので、日焼け止めの使
用率を上げたいと思います。

友利 「光老化」啓発ブ
ロジェクトの進展を期待い
たしております。本日は大
変勉強になりました。あり
がとうございました。

川島氏



（ナビゲーター）
医師・コメンテーター

NPO法人皮膚の健康研究機構理事
京都大学名誉教授

近畿大学医学部皮膚科学教授
東京女子医科大学皮膚科学教授

名古屋市立大学医学部皮膚科学教授
NPO法人皮膚の健康研究機構副理事長

神戸大学医学部皮膚科学教授
川田 晴氏

宮地良樹氏
川島 真氏

森田 明理氏
錦織千佳子氏

友利 新氏

